

春合宿プレゼン 「20 歳のころ」

未来の私たちへ

～社会に出て行くにあたって今私たちができること～

加藤恭子ゼミナール

柿本、川崎、星野、山根

☆はじめに☆

私たちは社会に出て行くにあたって、今何をすべきか、というテーマで今回の課題に取り組みました。そこで、経済学部先輩方が 20 歳の頃どのような学生生活を送っていたのか、お話を伺うことが参考になると思い、経済学部の卒業生を調べていたところ、株式会社帝国ホテル常務、帝国ホテル大阪総支配人である伊藤昭彦さんを知り、大変興味を持ちました。そして、伊藤さんに直接お会いし、お話を伺いたかったので、帝国ホテル大阪まで行ってきました。

☆インタビューの概要☆

伊藤さんは、学生時代にすべきこと、社会に出てからの心構えなど、多くのことをお話してくださいました。学生時代は学校の勉強だけでなく、一般常識や礼儀、そして自分の就きたい職業についての勉強をするべきであると教えて下さいました。サークル活動では、一生の友達を作ることが大切だとおっしゃってくれました。また、学生時代のアルバイトがきっかけにホテル業界に興味を抱かれたそうです。ここで、伊藤さんは様々な経験をしておくことが大切だと教えて下さいました。

伊藤さんは帝国ホテルに入社後も様々な仕事を経験されました。しかし、その仕事の中には、苦手とする仕事もあったそうです。伊藤さんは、そのような仕事の取り組み方についても話して下さいました。自分の苦手な仕事をしているときは、仕事以外のことに目がいてしまいがちなのだそうです。そのような時は、解決方法の一つとして、創造的な趣味を持ち、オフの時はそれに打ち込むということがあります。その他の解決策としては、その仕事が、自分の欠けている部分を与えられているのだと前向きに考えることです。そして、仕事に対する興味を広げることが大切だと教えて下さいました。

そして、伊藤さんは最後に私たちにアドバイスして下さいました。

- ・ジェネラリストより、スペシャリストに
- ・自分のために勉強する
- ・即戦力と評価してもらえれる技能を身につける
- ・将来のビジョンを持って進む
- ・大学時代は一生付き合える大切な友達を作る

これから、社会に出ていく私たちにとって大変ためになるお話でした。

☆インタビューを終えて☆

今回、有名無名人の 20 歳のころというテーマに取り組み、社会に出ていくにあたって多くのことを学ぶことができました。普段、伊藤さんのような役職に就いている方とお話しする機会がないので、今回のインタビューは私たちにとってとても意義のあるものでした。特に、これから 3 年後、自分たちが社会人になるにあたって必要なことや、今やるべきこと・やれることが何であるものかを知ることができました。

また、伊藤さんから友達の大切さおも教えていただき、今回、一緒に取り組んだ班のメンバーや、ゼミのメンバーとはこれからもっと仲を深めていきたいと思います。

ありがとうございました。